

校種：高等学校

教科：公民科「公共」

単元名「持続可能な社会づくりの主体となる私たち」

(8/8時間)



## 視点1 「持続可能な社会の創り手」との関連

主権者として、持続可能な社会づくりに向かう社会参画意識の涵養やよりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を育成すること。



## 視点2 「個別最適な学び」と 「協働的な学び」を一体的に捉えた学習活動

指導の  
個別化

社会の諸課題について、生徒自身が問い(課題)を設定する。**それぞれが社会課題について、手段を選択し、持続可能な解決策の提案を行う。**(多様な学び)

学習の  
個性化

**生徒一人一人の興味・関心に応じた課題意識を基に考察を進める。**それぞれの視点で課題解決案を提案する。(多様なゴール)

協働的  
な学び

課題解決策を立案するため、**友人との対話、地域の自治体職員等、外部機関や専門家との対話を行う。**スライド作成はクラウドで行い、常に**他者参照**できるように設定する。

# 視点3 本単元におけるICTの活用



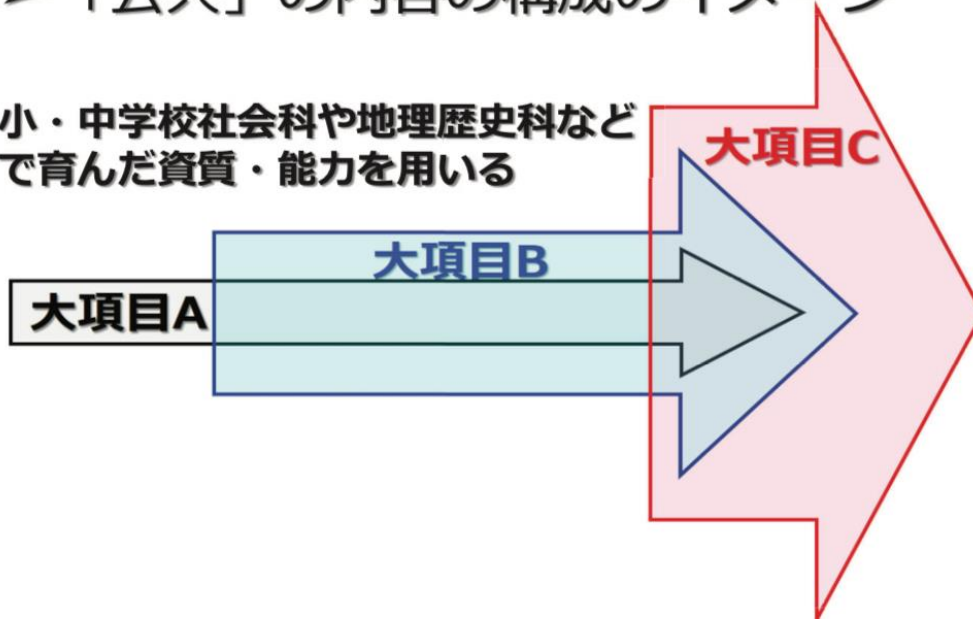
## デジタル学習基盤の活用 (Microsoft google等)

チャット、ファイル共有、資料編集、オンライン会議、  
スライド作成、アンケート、アンケート、  
振り返り 等

## 視点4 授業デザインの構想例

➤ 「公共」の内容の構成のイメージ

小・中学校社会科や地理歴史科などで育んだ資質・能力を用いる



自立した主体として  
社会に参画するために必要な  
資質・能力

現実社会の諸課題の解決に向け、自己と社会との関わりを踏まえ

- ・ 社会に参画する主体として自立すること
- ・ 他者と協働してよりよい社会を形成することなど

について考察する

## 視点4 授業デザインの構想例

➤ 「公共」の内容の構成のイメージ

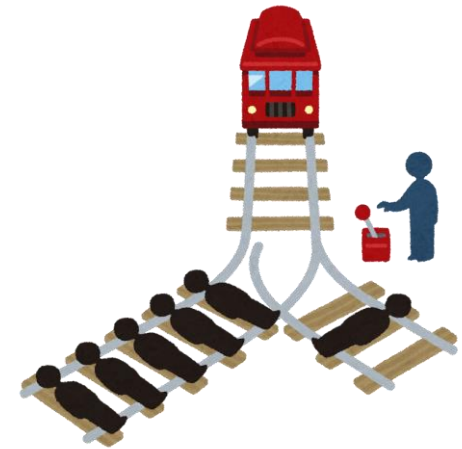
小・中学校社会科や地理歴史科などで育んだ資質・能力を用いる



## 視点4 授業デザインの構想例

➤ 「公共」の内容の構成のイメージ

大項目A

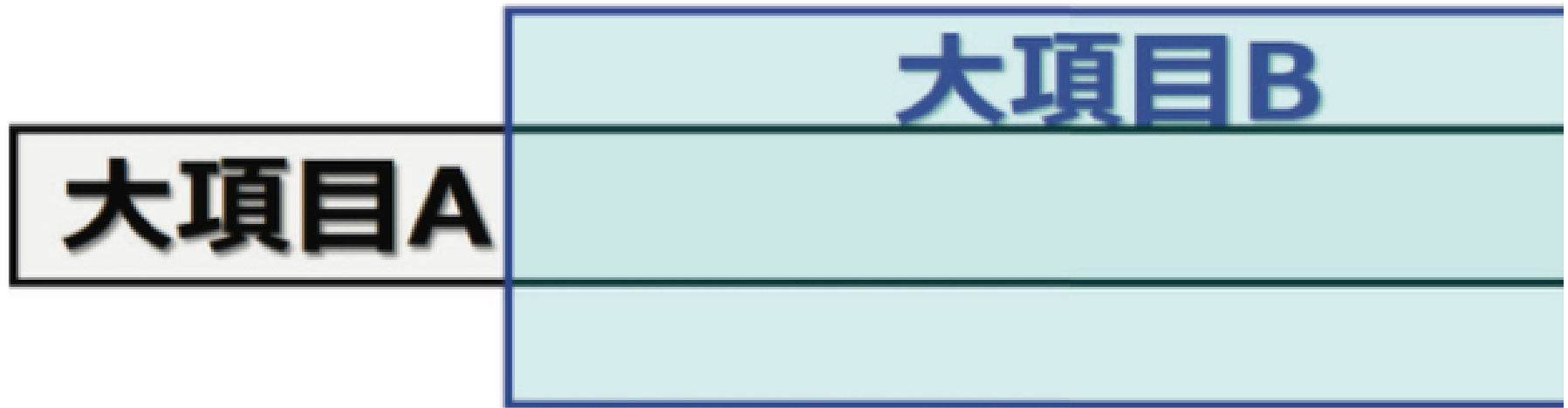


大項目Aで「選択・判断」の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的な原理を身に付け、大項目Cで活用する。

例) トロッコ問題 等

## 視点4 授業デザインの構想例

➤ 「公共」の内容の構成のイメージ



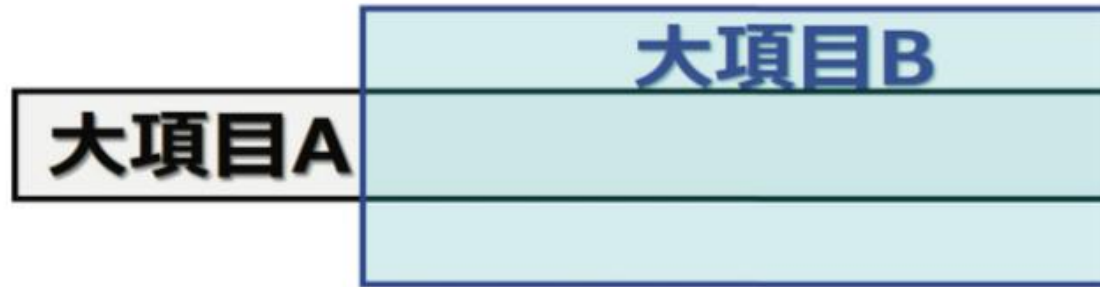
大項目A・Bで扱った課題などへの関心を一層高め、大項目C（本単元）の指導を行う。



## 視点4 授業デザインの構想例

### ➤ 「公共」の内容の構成のイメージ

小・中学校社会科や地理歴史科などで育んだ資質・能力を用いる





大項目C

**本単元  
8時間**

探究活動を通じて、「自立した主体として社会に参画に必要な資質・能力」を身に付ける。

# 視点4 授業デザインの構想例

## 導入

单元名:「持続可能な社会づくりの主体となる私たち」 全8時間					
流れ	授業の流れ(第8/8時) 本時における学習過程「考えの再構築」	指導の 個別化	学習の 個性化	協働的 な学び	ICT の活用
導 入	1 前時までの活動を振り返り、本時の問い、活動を確認する。 ① グループやクラスでの発表を踏まえ、自分の課題解決案を修正し、完成させ、提言としてまとめる。				
	② 終末に個人でこれまでの単元の学習を振り返ることを確認する。  本時の問い:「生徒個人で設定した問い」 例) 私たちはフェアトレードと、安価な商品を求める消費者意識とどう向き合うべきだろうか 等				

1. 前時までの活動を踏まえ、本時の流れを提示・共有、見通しを持たせる。

# 視点4 授業デザインの構想例







## 展開

展 開	2 各自で個人の提言案の修正を行う。 (妥当性や、実現可能性についての見直し) ・他者参照し、改善点を具体化する。 ・多面的・多角的に考察する。			
	3 修正した提言案の全体シェアと意見交換 ・クラス全体で共有し、多様な意見を比較・検討する。 ・聞き手はチャット機能でコメントする。 ・他者の提案から学び、自分の考えを更に深める。 ・プレゼン、意見交換を通じて、自分の考えを再構築する。			

2. 対話や他者参照から課題解決案の修正を行う。
3. 全体共有を行い、アウトプットから思考を整理する。

# 視点4 授業デザインの構想例

## 終末

終末	<p>4 本時の学習を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本時の振り返りを Teams 上の1枚ポートフォリオシートへ入力、または紙のポートフォリオシートの画像を投稿する。</li> </ul>	 主 振り返り	 深 省察	 振り返り
	<p>5 個人で単元の学習を振り返る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">                 単元を貫く問い：「持続可能な社会づくりに向け、自分自身にできることは何だろうか」             </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・持続可能な社会づくりについて関心をもち、自ら課題を見だし、その意義や課題解決に向けた自らの在り方について記述、入力する。</li> <li>・学んだ内容を実生活や今後の学習にどう生かすかを考える。</li> </ul>	 主 自分事	 主 振り返り	 深 省察

4. 本時の振り返りを行い、思考を整理し、深める。

5. 単元を貫く問いを振り返り、**今後どのように生きて働く力として活用できるか**考察する。

## 視点4 授業デザインの構想例

### ポイント

- 今回の授業デザインは「フレーム」である。
- 生徒が「未来をどうにかしたい」「自分たちで解決しよう」と考えられる授業づくりが大切。
- 「探究する活動」が「調べ学習」にならないようファシリテーションが必要。

**ご清聴ありがとうございました**

